

審議会等の会議結果報告書

【担当課】文化財課（八ヶ岳総合博物館）

会議の名称	茅野市博物館協議会専門部会		
開催日時	24年8月23日（木） 午後5時30分～午後7時40分		
開催場所	八ヶ岳総合博物館 研究室		
出席者	沖野委員長 北沢副委員長 石森委員 岡野委員 小池委員 茅野委員 名取委員 花里委員 浜委員 両角委員 鶉飼文化財課長 若宮八ヶ岳総合博物館長 大谷博物館係長 柳川博物館係主査		
欠席者	なし		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
北沢副委員長	1 開会（博物館係長） 2 常設展示室 見学 （茅野の大地）火山の音にこだわったが、これほど大きいとは思わなかった。直さなければならない。入口の廊下の所にパネルを作りたい。現在教科書とあっていない部分を補足していきたい。 （地質図について）河内晋平氏の学術成果をもとにしたが、当時は年代測定という方法がなかったので、現状は異なっている。以前は新しい八ヶ岳ができたのは20万年前とされていたが、これを50万年前に変えていかなければいけない。霧ヶ峰の頂上は75万年前に始まるが、この時には八ヶ岳の活動は終わっている。「噴出した火の山 八ヶ岳」は分かりやすく変えたい。 正面の大きな写真は、平面的なので立体的にしたい。 活断層については、産業技術研究所の成果を使って、地質図を変えたい。 河内晋平氏の成果に基づいたパネルは、学術的な価値があるので、パネルで補足の解説を付けて遺して行きたい。		
小池委員	守屋山を中心とする西山関係がどのようにできたかについて、多くの市民が関心を持っている。そのため、現在の展示にはビデオが設置している。石の実物展示を効果的に展示するにはどのようにすればよいか課題だ。西山には化石が出土するので、考えていかなければならない。		
茅野委員	（八ヶ岳の豊かな水）コーナー入口に川が流れていて、歩いて上流に行く展示にしたかったが、予算の関係で無理そうだ。温泉・湧水の分布図が一緒でわかりづらいと言われた。分割した分布図にしたい。立体模型図と連携させたい。壁があいているので利用したい。展示室で生き物が飼えないかと考えていたが、かつて入口のところでゲンゴロウを飼っていたが大変だった。飼育員がいればいいが、人手不足の中で飼うのは不可能だ。 「川の汚濁と浄化のしくみ」などで、何種か水生昆虫の生態を示したい。これは映像によって行っていきたい。		
北沢副委員長	導線を見ると、壁面を見ていく人は多いが、壁面は見て、中央に立てて		

浜委員	あるパネルをみる人は少ない。歩いてきて目の前に出てくる展示が良い。 そのような展示にしようとしたら、業者に却下された。この時、業者は陸水の展示は初めてだったので手探りだった。
北沢副委員長	中央のパネルの重なり方が逆方向になっていて、見づらい。
若宮八ヶ岳総合博物館長	この機に動植物のコーナーとの間の壁を取り払って一体化できる。
名取委員	生物多様性が、現在エコロジー活動の中心的なコンセプトである。それを説明している展示は現在ない。その展示をするのは地形と動植物の入り口か。動植物の導入部の入り口は、何のためにあるかわからない。暗いし狭い。水棲生物と連続させて、プランクトンから昆虫・動物と展示していきたい。 地形の所の茅野市全景写真があるが、動植物も併せて立体的な展示をしたい。 植物は季節といった時間で多様性がある。映像を使い、時間的な連続性も見せていきたい。茅野の大地を想像させる様に明るい展示にしたい。
北沢副委員長	歩いてくると、正面に見えるようにしたい。
名取委員	(八ヶ岳の生物) 帰化植物や獣害など動物と人間との関係について展示できると良い。八ヶ岳だけではなく縞枯れについても壁面を使って展示を行いたい。
大谷係長	答申の中では、野鳥は夏を主体に展示するよう提案をいただいている。常設展示に昆虫類などいくつかの分類群が欠けているのが大きな課題である。動物の分布域も変化してきている。
名取委員	現在の動植物のジオラマは雰囲気のある展示だが、季節の変化を見せたい。また、動物・植物・昆虫のつながりがわかるものを作りたいが、これらは映像でしか表現できない。体感できるものが良い。 人里の生態系について、陸水のところからつなげていきたい。今井先生の植物の写真が総合博物館に寄贈されているが、コンピューターを使って展示したい。生物多様性についてもコンピューターを使って展示をしていきたい。壁が死んでいるのでそのような所で使用していきたい。動植物のジオラマは島状に展示されているが、スペースをつなげてしまっているのではという意見が去年あった。川(ジオラマ)を作って、区切れればいいのでは。
北沢副委員長	低山帯・亜高山帯の表示がわかりづらい。
花里委員	鳥の声が流れてくるが、どの鳥が鳴いているのかわかるようになってくるか。
小池委員	わかるようにはなっていない。鳴いている鳥にスポットライトが当たれば良いという話もあった。
若宮八ヶ岳総合博物館長	壁を取り払うなど変更はできる。
名取委員	遠望がわかる展示にしたい。富士山や北アルプスが見えるような展示にしたい。これらはディスプレイなどを使えばいいのでは。高山帯のところの壁が使われていない。 現在、高山帯の展示では実際の植物を採取してきて展示している。レプリカが高価で驚いた。高山帯の絶滅危惧種について扱った展示をしたい。

両角委員	<p>縞枯れの展示はあるが、霧ヶ峰の展示がないので、どうにかしたい。 細かいことを調べるための展示はパソコンを使って行いたい。 高山帯の展示に地質的な展示も行いたい。</p>
北沢副委員長 名取委員	<p>八ヶ岳の生物ということになっているが、茅野の生物という視点から見ることはできないか。 八ヶ岳を中心に据えていきたい。 現在の展示は臨場感がある。壁面の利用で周辺の富士山などの山々が見られる展示があるのはいいと思う。</p>
北沢副委員長	<p>階段から展示スペースとして使えないか。パネル等を使用して導入部として。 (八ヶ岳麓文芸館)</p>
小池委員	<p>2階の展示と文芸館がつながるようにしたい。</p>
石森委員 大谷係長	<p>2 第1回茅野市博物館協議会専門部会 会議結果報告書について 「石野委員」とあるが、「石森」なのか「茅野」のことなのか。 石森委員の間違いなので訂正する。</p>
	<p>その他、委員から特に質問、意見等はなく、会議結果報告書を公開することで了承された。</p>
北沢副委員長	<p>3 協議 現在の展示物で引き続き活用できるものは何か、改修・改善しなければならない物、足したいものは何かという3点を念頭に置いて考えてもらいたい。そうでないと、予算的に難しくなるのでは。</p>
沖野委員長	<p>全員で協議するというのではなく、関係のある委員の宿題で考えていくことか。</p>
若宮八ヶ岳総合博 物館長	<p>答申書をもとに線を引くということは別の人間が行う。この協議会ではどのような手法で展示を替えていくかということ協議してもらいたい。ディスプレイの話が常設展示の見学であったが、手法などを新しい方向性でお願いしたい、細かいところは去年出してもらったが、方向性を大きなところでも出してもらいたい。</p>
北沢副委員長	<p>去年は展示にストーリー性を持たせるという話があった。これは欠かすことができない。</p>
岡本委員	<p>ストーリー性のわかる展示が良い。i-Padになるかどうか分からないが、来館者が個々に展示の説明が受けられるのが良い。一人で展示を見ても内容がわからない。展示と来館者をつなげる媒体が何になるのか。</p>
花里委員	<p>今の展示は展示をしているだけで、ビデオを流しているだけである。映像は淡々としているので、見ている人に訴えかけるところがなく、あまり依存しない方が良い。今日、展示を担当した先生方の話を聞いたが、人間が話した方が、訴えかけるものがある。担当者の話が聞ければよいが、そこをどうするか。</p>
浜委員	<p>空いている壁にパネルを入れてもあまり変わらない。網羅的に展示しても今は流行らない。中央構造線と活断層などの茅野市の特徴をどこかに出したい。少し展示物を直してもあまり変わらない。</p>

名取委員	基本はできているので、細かい範囲で手直しができればいいのでは。骨格はできていると思う。
石森委員	空間が結構あるので、デジタル化することは今後議論になると思う。総合博物館がターゲットとする客層は何を設定しているのか。
北沢副委員長	中学生あたりがわかればいいのでは。しかし、文章は小学校高学年が読めるようにしたい。ルビを入れればいいのではという話があった。科学教育センターは、小・中学生対象である。総合博物館の展示と関連付けるようにしたい。
沖野委員長	一般市民対象であれば中学生以上か。
浜委員	市民がわからないことがあったら、博物館に行けば分かるというようにしたい。昔、博物館は建てればよかったが、今は内容を変えていくものでなければならない。
北沢副委員長	骨格を作って足したり引いたりできるような展示がいいのではないか。
花里委員	子供や市民に来てもらうには頻繁に展示替えができるようにしたい。
沖野委員	研究員が常時いるわけではないので、やはり市民学芸員が必要となる。
北沢委員	体験するという事は、科学センターと連携して考えていく必要がある。しかし、体験は資料が破損するなど様々な心配がある。
茅野委員	富士見中学校のように地質について学習したいという目的を持って来てくれる学校は対処しやすい。このように目的を持って来館してもらうことを周知してはどうか。また、市民が学習・研究するにはどうすればいいのかを周知した方が良いのでは。博物館で見てから山へ連れて行ったり、利用の仕方を周知した方が良い。
沖野委員長	そのためにはメニューをそろえて提示しなければならない。
北沢副委員長	学習に耐えられる展示にしなければならない。学校のつながりは重要である。それは科学教育センターの運営でも重要だ。茅野市内の学校はなぜ連携しないのか。
沖野委員長	学校と博物館の関係はどうなっているのか。連絡会はないのか。
茅野委員	かつてあったがなくなった。
沖野委員長	校長会に館長がオブザーバーとして出席することはないのか。
茅野委員	ない。
小池委員	展示したから来てくれるという時代は終わった。しかし、北沢副委員長が言うように、展示はしっかりしなければいけない。どう人を呼び込むかを考えていかなければいけない。クイズ形式のカードを作るとか、そのような工夫が必要。こういうことを知りたいということを、どうやって展示に入れていくか、どのようなものが必要かを考えていかなければならない。
両角委員	展示は基本的なことを重視して見直していった方が良い。市民学芸員が調査したことを部分的にでも展示に反映できるようにできたら良い。講座をたくさん開催して、月1・2回開催すれば来る人も増えるし、調査成果も上がるのではないか。展示は基本的なことを残して、それ以外のところを直せばよい。
北沢副委員長	展示は館の運営に関わっている。展示物が柔軟に変えられることは必要である。そうでないと、館の姿勢が問われることになる。展示は講座などの館の運営と連動して考えていかなければならない。八ヶ岳を中心に据えていかなければならないが、茅野の置かれている状況、造山運動などを取

沖野委員	<p>り込んでいかなければならない。</p> <p>ストーリーはできているが、問題はどうか特徴を出していくか。また、新しいデータをどう反映していくかというのが問題だ。山などの現地へ行くことは現在ではたやすいので、壁面は、外とつながっていくので、外とのつながりで展示を考えた方がいいのではないか。市民学芸員は映像などを撮影するのが得意なので、市民が撮影したものを取り込んだりして、現在では紹介の仕方は色々ある。</p>
石森委員	<p>デジタル機器が発達しているので、それで情報を発信していけばいいのでは。小学生はそのような情報を欲しがるとはではないか。</p>
沖野委員	<p>博物館は静止画像なので、動画を自分で制作できるのが良い。実物を見たくなるような画像を公開したらどうか。学校との関係でも実際に実物を見るのが大変だということもあるので、画像メニューをデジタルデータで学校に渡すことができればよい。</p>
岡本委員	<p>校外学習で、色々な所に行くが、カリキュラムの位置づけがなされていない。新たにカリキュラムに入れていくのは難しい。中諏教育会で副読本を作っているが、どのように博物館と理科教育を結び付けていくか。市全体でどのようにしていくかということが必要だ。あと、時間と足（移動手段）がネックとなる。カリキュラムの中での兼ね合いをどうするかが課題である。</p>
沖野委員 北沢副委員長	<p>どうすれば館長が校長会に出席できるようになるか。</p> <p>それは教育委員会の姿勢次第である。最近学習時間が減っているの、難しいか。子供が勉強するには時間的なゆとりが必要である。校長の意識を変えていくことが必要だ。学校を巻き込んで博物館を活用していくことは必要である。</p>
沖野委員 浜委員	<p>展示で欠けている所は何か。</p> <p>歴史・民俗の展示について、鉄山の資料を残していかなければならない。あと、金沢の金山と城跡が必要だ。</p>
名取委員	<p>人間を含めた総合性で展示を行いたい。水生昆虫のところの白いジオラマ（茅野の河川模型）があるが、それを人文のところ入れられないか。</p>
沖野委員	<p>水生昆虫のところのジオラマは、川などをいれこもうとしたのではないかとと思うが、中途半端な気がした。このジオラマがいきなりあるので、違和感を感じる。</p>
浜委員	<p>最初は川を流して、魚の模型などを入れてジオラマを作ろうとしたが、費用がかかるというので、現在の形態になった。</p>
北沢副委員長 沖野委員	<p>川だけなので、それにいろいろ情報を入れれば有効活用になる。</p> <p>ジオラマを外に出してもいいのでは。シラビソの展示のところに切り株などを置けば雰囲気が出ると思う。また通路に椅子などを置くなど工夫が必要ではないか。</p>
浜委員 茅野委員 沖野委員長	<p>字が小さいのが問題だ。</p> <p>会場が暗いのも問題である。</p> <p>花里委員が言ったが、鳥がわかりづらい。スポットライトを当てるなど工夫したい。</p>
小池委員 茅野委員	<p>気象の展示が欠落している。</p> <p>資料1に欠落しているものを書いてあるが、具体的なものを考えていか</p>

	なければならない。
沖野委員	菌類は最近人気が出ているが。
	去年の気象担当の委員は。
北沢副委員長	いなかった。八ヶ岳は広域になってしまうので、展示はパネルと映像を使って行いたい。
花里委員	映像はNHKがいいものを撮影している。以前、NHKの映像を流している所があったが、立ち止まって見ている人が多かった。興味を持ってもらえるような映像ならいいと思う。
北沢副委員長	映像を一から作るとなると大変である。できている映像ならばいいが、茅野地域限定の映像があるかどうかわからない。
沖野委員長	気象は映像で展示するしかない。
名取委員	気象や植物は映像でなければ無理。
花里委員	ブースを作って、パーソナルに見られた方が良い。
北沢委員	段階的にやるのか、一気にやるのかで違ってくる。映像を作ると夏と、費用が問題だ。
沖野委員長	地図が上に展示してあるよりは、下に標本とともにあった方が良い。
北沢副委員長	そのような案は昨年出ている。
沖野委員長	岩石標本が顕微鏡で見られた方が良い。動物についてはどうか。
両角委員	シカの分布域はいつも変っている。昔は八ヶ岳にはいないといわれていたが、現在では分布域となっている。固定的な展示は難しい。
沖野委員長	それを地図上に落とせるか。
両角委員	調べている人が少ないし、シカの分布域は変わっている。
花里委員	近年セミの声をあまり聞かないが、セミの生態数調査をしている人はいるか。
小池委員	今年はとても少ない。
両角委員	ここ10年来減っている。しかし、セミの生態調査をしていないので、発表しようがない。
花里委員	博物館が専門家に橋渡しができるようになればいいが。
若宮館長	そのようなデータは博物館で把握していない。各地にレポーターがいて、毎年の積み重ねができれば良いと思う。
両角委員	鳥の剥製はいいが、カーヴィングしたのは実物とかけ離れている。これを剥製に変えたい。
沖野委員長	植物の方はどうか。
名取委員	今井建樹先生の写真は長野県の宝だ。これをデータベース化にしなければならない。できれば、福田さんのミヤマシロチョウもそのようにしたい。写真は全部展示できないが、パソコンなどのやり方によっては活用できると思う。
沖野委員長	特別展示室についてはどうか。
若宮八ヶ岳総合博物館長	特別展示室は、来館した時に常に何かやっている状態にしたい。
沖野委員	文芸館を移動させるということか。
若宮八ヶ岳総合博物館長	文芸館は借り物もあるので、空調の効いたところに展示したい。増設するところに特別展示室を作ると考えていきたい。
沖野委員	すぐにはできないのでは。

若宮八ヶ岳総合博物館長	<p>すぐにはできない。自然観察園についてはどうか。</p> <p>八ヶ岳総合博物館を作るときの構想で、自然植物園と風土産業作業棟を作るということになっていたようだが、これを自然観察園として考える。これは、敷地の西側に奥まった所に作るということになっている。ビオトープ的なものを自然観察園に含めるかどうか。去年の答申の時に空中回廊という絵があったが。</p>
沖野委員 北沢副委員長	<p>自然植物園は動植物園ということか。</p> <p>鳥類も含めて観察できる場所にしたい。</p>
若宮八ヶ岳総合博物館長	<p>科学技術の展示については議論してこなかった。体験にすればいいのかななどの方向性を出してもらいたい。</p>
小池委員	<p>科学教育センターと特別展示室の関係についてはどうなっているのか。併設にするのか。</p>
北沢副委員長	<p>現在議論されているところだ。総合博物館にくっつける形で作ってもらいたいといわれている。通路で行き来できるようにしたい。可能であれば科学教育センターとセットで考えてもらいたい。科学教育センターの方に特別展示室を作る答申になっている。</p>
	<p>その他、委員から特に意見等はなく、次回も引き続き展示の更新を議題に審議を進めることで了承された。</p>
若宮八ヶ岳総合博物館長	<p>4 次回の予定</p> <p>9月13日(木)と27日(木)の午後6時からで行いたい。</p> <p>その他、委員から特に質問、意見等はなく、次回日程について了承された。</p>
大谷係長	<p>5 博物館協議会の視察予定</p> <p>10月20日(土)に博物館協議会の先進地視察を予定している。視察予定先は、飯田市美術博物館・飯田市歴史研究所・飯田市上郷考古博物館を予定している。専門部会の皆さんの参加も可能ですので、ご承知おきください。</p> <p>閉会～午後7時40分 終了～</p>